

吉村和就氏講演録

「豊かな水の星であるために、
今、日本がなすべきことは」



▶グローバルウオータ・ジャ
パン代表／吉村和就氏

【プロフィール】

（講演当日のパンフレットをもとに作成）
秋田県出身。1972年に荏原イン
フィルコ入社。同社・新規事業開発推
進室部長を経て94年に荏原製作所本社
入社。経営企画部長を任される。98年、
国連ニューヨーク本部・環境審議官に
就任。発展途上国の水インフラの指導
に努めた。2001年、荏原製作所に

復職。2005年にグローバルウオー
タ・ジャパンを設立。英語に堪能で、
海外での講演経験は豊富。業界紙・専
門誌への寄稿を行い、著書も多数。N
HKクロージアアップ現代などテレビ出
演でも活躍中。日本を代表する水環境
問題の専門家。国連テクニカルアドバ
イザー。水の安全保障戦略機構・技術
普及委員長。

水が危ない！

世界のどこが水を一番使っ
ているのか？ 我々が住むア
ジア太平洋地域です。199
5年は全世界の水の約60%を
使っていました。2025年
には約75〜80%に達するの
ではないかと言われています。
人口増加、経済の発展、生活

様式の向上がアジア人の水の
使用量を増やしているの
です。

ただ、中国は世界人口の約
20%（約14億人）を抱えま
す。自国で賄える水資源は世
界全体の5%のみです。既に
660の都市の内511の都

市で水不足が生じています。
自国の発展のため、いかなる
手段を持っても水を集め
なければなりません。
アメリカは全世界の58%の
とうもろこし、22・3%の小
麦、27・6%の豚肉を輸出す
る農業国です。
しかし、アメリカ全体の農
業を支える巨大地下水脈「オ
ガララ帯水層」（米国内8州
にまたがり、日本の国土面積
の約1・2倍）は枯渇、ある
いは土壌の塩分によって塩水
化が進み、作物が育てられな
くなってきています。農産・
畜産物の一大輸出国であるア
メリカの水が危ないというこ
とは、世界の食料が危ないこ
うことです。オバマ大統領
は水のタスクフォースチーム

長岡市内のホテルで2011年10月22日、下水処理
場や上水道施設の維持管理などを行う緑水工業（長岡
市）が主催するフォーラム「水を想う」が開催され、
水環境問題の専門家・吉村和就氏（グローバルウオー
タ・ジャパン代表）が講演を行った。生活の中で当た
り前に使われている「水」が今、世界で危機に瀕して
いることはあまり知られていない。そして水ビジネス
が、世界で大きな注目を集めていることも。本稿は
当日の講演の一部を要約・再構成して収録した。

を結成し、水問題を解決するべく動いています。

気候変動がもたらす水資源への影響も深刻です。地球上に存在する水は固体、液体、気体と形を変えているだけで一定量なのですが、その水を降らす降雨帯の位置に地域的な偏りが出始めています。人類の多くが暮らす海岸線沿いに適切な水量が得られなくなってきたのです。

知るべきこと「日本の仮想水」

日本の水は大丈夫？ そんなことはありません。

日本の年間降水量は約6400億m³。その内の2300億m³が太陽に照らされて蒸発散します。残る4100億m³の内、3270億m³は海に流れ、最終的に残るのは830億m³。その所在の内訳は河川水87%・地下水13%。使い道の内訳は農業用水66%・生活

であり、温度が高くなると微生物は活動を活性化させ、あらゆるものを腐敗させます。水の場合は水質汚濁が激しくなります。

アラブの王様は言いました。「水の一滴は、血の一滴」。世界には約270の国際河川があり、水利権、水分配を巡る争いが頻繁に起きています。21世紀は水の時代。その認識で全世界が動き始めています。

用水19%・工業用水が15%です。

日本の雨は「1泊2日」。海が暖められる↓水蒸気になる↓雲になる↓雲の中で氷が出来る↓地上に降り下りる↓川を通じてまた海に戻る。この期間がたったの1泊2日です。ヨーロッパでは7~10日程度要します。

の川に比べて短いからです。国内最長と呼ばれる信濃川でさえ367km。(世界各国の川と比べ、日本の川は全長が短い割に水源の標高が高いため)海外の人からすれば日本の川は滝です。ですから日本は水循環がうまく機能し、水不足にはなっていない。

す。これだけの水をどこかに貯めておかなければいけません。

そして現在、日本は約60%の食料を海外からの輸入に頼っています。輸入する食料をその国で栽培する時に必要な水量を「仮想水」と呼びますが、日本の仮想水は640億m³。国内の水資源に近い量であり、日本は世界から、世界最大の水輸入国とのレッテルを貼られています。

カーボントラックスという言葉があり、簡単に言えば二酸化炭素の排出権に税金を掛けるということです。

私が恐れるのは、将来的にウォータータックスが生まれること。このままいくと日本は世界からお金をむしりとられてしまいます。仮想水を減らすことは国家目標でなければいけません。

牛丼一杯が2千ℓの水で支えられています。牛丼をつくるためには牛の餌とな

る穀物を育てなければいけません。つまり、仮想水を物凄く使います。鶏肉1kgを育てる場合は4500ℓ、豚肉1kgならば5900ℓ。牛肉1kgでは2万6000ℓが必要なのです。

世界の水問題を考えるに当たり、食べ残さないことは水資源への貢献のひとつです。



吉村氏の講演後は水環境保全についてパネルディスカッションが行われた。写真奥は緑水工業・鈴木敏美社長

当たり前のことだけど

「元気がいちばん。」

…というわけで診察からリハビリまで、私たちが元気回復のお手伝いをします。

水ビジネスに乗り遅れた日本

国連在籍時、NGOの方から「水をビジネスにするなどけしからん」とよく言われたので、こう質問していました。

「皆さんが水を安心して24時間使うためには何が必要ですか。水を集める、貯める、処理をする、配る。これらに関わる費用は誰が負担するのですか」

相手はそう聞かれると黙ってしまいます。

では、世界で誰が大きな水ビジネスをしているか。フランスのヴェオリア、スエズ、

イギリスのテムズウォーターが世界3大水企業と呼ばれています。

なぜフランスが強いのか。まずひとつは、フランスが150年以上に及ぶ民間運営の水道事業会社の歴史を持つからです。

もうひとつ。「外貨の獲得は国益である」との考えで大統領自らがセールスマンになり、全世界を回っているからです。フランスは水だけでなくワイン、原子力発電所で作った電力をドイツ、イタリ

アに毎日売っています。

東日本大震災発生後、福島県の放射能の廃液処理は大きな問題でした。しかし3月31日、アレバ社（仏・原子力企業）のロベルジョンCEOが来日し、「全てフランスに任せ下さい」と言っています。

翌4月1日はサルコジ大統領が来日し、「今回の日本の災害にフランスは国を挙げて支援する」と言いました。サルコジ大統領の日本滞在時間はたった3時間30分ですが、噂によれば2兆円の福島原発の排水処理、基本契約にサインして帰国したようです。や

はりこれくらいの水ビジネスには国家元首が動かないとダメですね。

韓国はイ・ミョンバク大統領が国最大のセールスマンです。イ・ミョンバク大統領がアラブ首長国連邦から原発140万kwを4基受注した時、欧州メディアが尋ねました。

「韓国は海外で原発をつくった経験がありません。大丈夫ですか？」

イ・ミョンバク大統領が答えます。

「大丈夫。下請けにウエスティングハウス・エレクトリック（米・原子力企業）と東芝を

使います」

本来であれば日本こそがプライムコントラクター（主契約者）として受注すべき仕事です。いつも下請け、あるいは部品供給だけに甘んじているのが日本の姿です。

昨年、イ・ミョンバク大統領は自ら18カ国を回って6兆円の外貨を獲得しました。日本はこの5年間で6人も首相が代わり、誰ひとり海外から注文書を取ってきていないのです。

韓国の国民は4900万人しかいません。海外からお金を得ないと国が成り立たない



富永草野病院

新潟県三条市興野2丁目2番25号
tel.0256-36-8777 fax.0256-35-6212

富永草野クリニック

新潟県三条市興野2丁目11番28号
tel.0256-53-0669 fax.0256-32-4712

東ヶ丘整形外科

新潟県長岡市栄町2丁目7番15号（旧栃尾市）
tel.0256-53-2025 fax.0256-53-2078

エバーグリーン・富永草野医院

新潟県燕市大字富永216番地1（旧吉田町）
エバーグリーン
tel.0256-92-3030 fax.0256-93-2076
富永草野医院 tel.0256-93-1001

<http://www.shihatsudo.or.jp>

世界で勝ち抜く日本の水戦略

のです。1997年に財政破たんをした韓国(当時はキム・ヨンス大統領)は、IMF(国際通貨基金。非常に強い力を持つ国際的な金融機関)に国の財布をかき回されました。イ・ミョンバク大統領はあの屈辱を二度と味わわないため、とにかく外貨を稼ぐために取り組んでいます。

また、水ビジネスは市場規模が100兆円以上ということもあり、民間企業の中でもGE(ゼネラル・エレクトリック。米・複合企業)、シーメンス(独・電子機器製造)、IBM(米・コンピュータ機器製造)など世界の代表的な企業が事業化に乗り出しています。

日本がこれまで外貨を稼げたのは、1つの企業が個人向けにつくった製品。トヨタの自動車、ソニーのプレイステーションなど全て個人売りです。システム売りはほとんどダメでした。

システム売りもお客さんがはつきりしているもの、例えばアラブの水・電力庁に向けた発電事業などはしつかりやれていましたが、相手国の自治体へ向けたビジネスは全て失敗しています。特にインフ

ラは未だにはつきりした成功例がありません。日本は個々の企業がバラバラに動くからこうなります。企業がまとまって「外貨獲得は国益」という精神を持たない、国もその精神を持たないため、企業を応援しません。国内企業が世界で勝ち抜くパターンは3つ。パターン1は海外企業と組み、共同事業会社をつくって海外に出て行くこと。パターン2は、今の円高状況を利用して海外の実

績ある企業を買収し、その企業の実績で海外に出て行くこと。パターン3は地方自治体と手を組んで、共同事業会社をつくって海外に出て行くこと。

出て行くときには日本国政府の外交的な支援、また、資本力は政府以外に例えばJIBC(国際協力銀行)、JICA(国際協力機構)、NEXI(日本貿易保険)などからきちとファイナンス、あるいは保険で後押ししてもらうことが必要です。

コンソーシアムについては2011年4月1日、異業種の会社が手を組んで水事業会社を設立しました。「水ینگ」(スイング)です。

荏原製作所の水処理技術、日揮が持つ海外プラントの建設実績、三菱商事の営業力・交渉力。3社が力を合わせることでアジア最大の水事業会社になる可能性を持ち、東京都が支援しています。ようやく、日本の技術を海外に働か

ける動きが出てきました。日本は技術力を過信し、相手のニーズを見ていないので、国家間のインフラビジネスで負けます。良い品物をつくれれば、相手が買いに来ると考えることは間違っていない。

今後、日本は世界のインフラビジネスにおいて、相手国が払えるお金はいくらか、どういう要求かというニーズをつかみ、トップセールスとスピード感をもって臨むべきです。

他国はトップがパツと決めます。日本が「やる」と言った時は、もうモノが完成しています。日本は水ビジネスに限らず、スピード感をもって、世界経済と向き合って行かなければなりません。

最後に、2000年、NYの国連本部でミレニアムサミットが開かれ、その時のナン事務総長(当時)の言葉です。「安全な水なくして未来なし」。



今板温泉 検索

www.gozu-yumotokan.com/

だか〜れも知らない秘湯、
五頭今板温泉、唯一の宿。

おすすめプラン
「月替り」板長おまかせ料理プラン
12,750円(税込)〜
1室大人2名利用での1名料金

閑静な山の一軒宿

湯本館

〒959-1927
新潟県阿賀野市今板温泉

ご予約専用電話

0120-445513

ヨイヨイ ココ イーサ